



## 環境整備作業を行いました!!



6月2日(土)、朝8時から定光寺町・下半田川町で環境整備作業・ゴミ拾いを行いました。いつもたくさんの方に参加していただいています。例年に比べて今年は、ゴミが少ないようでした。両町参加者は、44名でした。皆さん、ありがとうございました。



## 第1回ふるさと史跡探訪ウォーキング

6月9日(土)、ふるさと史跡探訪ウォーキングが下半田川町で行われました。地域力向上委員会と掛川公民館の共催で、24名が参加しました。4名は小学生です。

下半田川町民会館に集合し、最初に「曙光礼讃の碑」の解説と「ふれあいホール」建設の経緯を講師から聴きました。その後、オオサンショウウオ人工巣穴や秦川城(代官屋敷)跡を見てから庚申堂に行き、庚申講の説明を聴きました。庚申の夜に寝ると、人の体内にいる虫が天帝にその人の悪行を告げに出ていくので、人々は会食談義をして徹夜をしました。

ここに栗の木の花が咲いていました。雄花の穂のもとに小さな雌花があります。その後、墓地の六地藏を見学してから、町民会館へ帰りました。



# 原稿募集!!

## 「ふるさと再発見 山渡る風」

みんなで作る小さな絵本です



■一昨年の掛川イラストマップ作りの中ですばらしい絵がたくさん生まれました。水野金光さんの筆です。この絵をもっと生かせたらと制作しました絵はがきは2,200枚を超える反響がありました。

今回第3弾として企画しましたのが小さな絵本作りです。みなさんのエッセイや短歌などと絵の合作です。

コミュニティーグループでは昨年から話し合いを重ねてきました。グループ員の身近な人から原稿をいただきながらイメージ作りを行い、現在はその全体の姿ができあがってきたところです。

■そこで次の場所や建物について懐かしい思い出や楽しいエピソードがありましたら、ぜひ原稿をお寄せください。また、指定の場所に限定しないで自由な発想の詩やエッセイなども大歓迎です。

**小さな絵本の1ページがあなたの原稿を待っていますよ。**

### 下半田川町

- |            |                  |
|------------|------------------|
| ① 秦川城址     | ② 町民会館とふれあいホール   |
| ③ 曙光礼讃の碑   | ④ 十一面観音像と阿弥陀如来立像 |
| ⑤ 富士宮社     | ⑥ 六地藏            |
| ⑦ 小西碎石富士工場 |                  |



②町民会館とふれあいホール



④十一面観音像と阿弥陀如来立像



⑤富士宮社

定光寺町

- ① 上の運動場の跡      ② 神明神社      ③ 町民会館
- ④ 弁天堂                ⑤ 直入橋        ⑥ 定光寺無為殿
- ⑦ 徳川義直公廟        ⑧ 常夜燈        ⑨ 東島から見た御嶽山



③町民会館



④弁天堂



⑤直入橋



⑨東島から見た御嶽山

- 原稿締切      8月20日(月)
- 最大文字数    220字まで

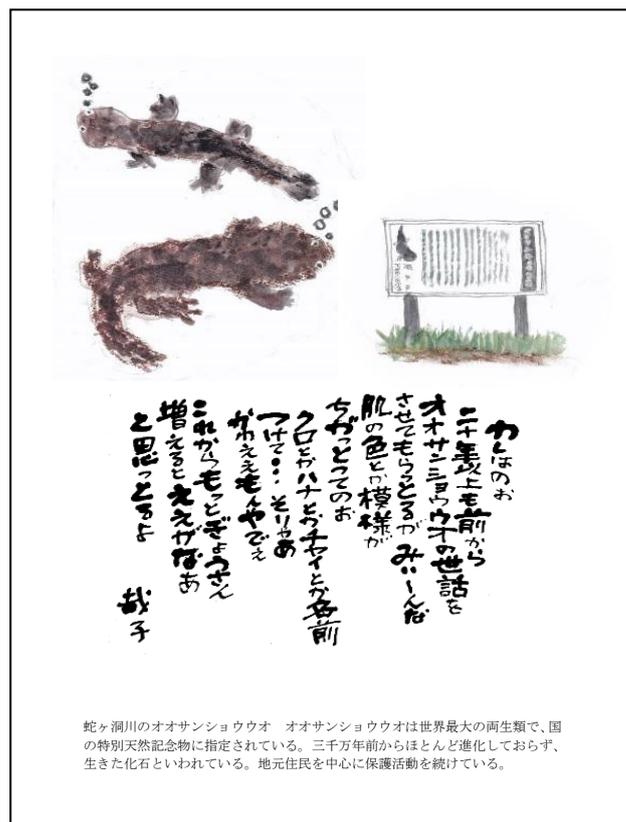
※来年度出版予定です。  
完成後は全戸配布する予定です。

尚、編集の都合上、絵1点に対しひとつの原稿の組み合わせになります。同じ場所の原稿が2人3人と重なるといけませんので、書いて下さる方は前もって下記担当者までご連絡をお願いいたします。

また、募集の場所に限らず自由な発想の詩やエッセイを書いて下さる方も誌面の都合上、同様に事前のご連絡をお願いいたします。

誌面に掲載されていない絵を確認したい方も下記担当者までお問い合わせください。

定光寺町      川井信一      48-5482  
下半田川町    早川直彦      48-5257



蛇ヶ洞川のオオサンショウウオ オオサンショウウオは世界最大の両生類で、国の特別天然記念物に指定されている。三千万年前からほとんど進化しておらず、生きた化石といわれている。地元住民を中心に保護活動を続けている。

(できあがりイメージ)



会員の声

## かけがわ

保田 邦博

保田さんはひまわり台にお住いです。掛川の魅力に惹かれ、二人のお子さんを掛川小に通わせているお父さんです。子どものため、掛川のためならと地域の活動にも積極的です。

「もし、私が瀬戸市の宝である掛川で暮らしが出来たら、どんなに素晴らしいだろう…。この自然豊かな里山の環境が自分にとって如何に健康的で有意義な時間になるだろうか…。せめて我が子には掛川小学校に通学させたい！」これは、私がずっと以前から温めていた掛川への想いでした。移住に関しては、今のところ夢が叶っておりませんが、通学に関しては夢が叶いました。

私一人の意向で勝手に決める訳にも行かず、家族会議を重ねて、反対派の意見を聞き、説得したり理解を求めたり、また教育委員会からは何度も念押しされるなど振り返れば幾多の困難を乗り越えての入学でした。

早いものでこの地域にお世話になり、あっという間に5回目の春を迎えました。当初は、他学区からの越境入学ということで少々不安もありましたが、温かく受け入れていただきました。

私自身は、住宅が密集するエリアで生まれ育ったので、季節の移ろいも、生き物が宿る事も、四季折々の匂を感じる行事なども乏しく、幼いながらに違和感を持って過ごして参りました。無い物ねだりと言われてしまえばそれまでですが、子供たちが掛川のような生命が豊かに宿り、地域と学校

が一体となって過ごせることは、非常に有意義な時間であると感じております。

子供たちは、毎日多くの発見をします。言葉では語り尽くせない程の経験と体験をしております。私からすれば、子供たちを羨ましく思っている日々です。本当に入学できて良かったと思っております。

掛川小学校は教室以外での学習時間が多く、先日行われたドリリンピックや田植えは、その一幕ですが、これを支えて下さっているのは、先ずやはり地域の方々の協力です。このようなあらゆる意味で豊かな地域が瀬戸市の宝として、今後も未永く続いてほしいと願っております。

私は、地域外という認識はもはや無くなりました。一緒に掛川を大切にしたい気持ちで一杯です。いつか、もう一つの夢が叶う日を温めてまいりたいと思います。

掛川の皆様には、小学校や地域の環境整備作業をはじめ、協力体制や愛情一杯の御協力には、心から感謝の気持ちで一杯です。文中にて御礼を申し上げます。また引続きお世話になりますが、宜しく願い申し上げます。本当に素晴らしい時間を子供たちは過ごせております！ありがとうございます。



**広報部**より

▼誌面に対する皆さまからのご感想やご要望をぜひお聞かせください。写真たっぷり！文字を大きく！など、皆さまに寄り添った誌面作りを目指しております。